

は じ め に

本書『目黒区の教育』は、令和7年度に目黒区教育委員会が取り組んだ施策や事業の概要をまとめたものです。

令和7年度は、統合新校として目黒南中学校及び目黒西中学校の2校が開校し、本区の教育にとって大きな節目の年となりました。平成18年の目黒中央中学校、平成27年の大鳥中学校に続く統合校の開校であり、新たな教育の姿に向けた歩みを進める一年となりました。

こうした中、教育環境の一層の充実に向け、多面的な取組を推進しました。教育活動の面では、「小学校40分授業午前5時間制」の全校実施、「中学校45分授業」の展開を進め、創出した時間を活用した特色ある教育活動や「自己選択学習」の充実を図りました。さらに、特別支援教育における指導の充実、不登校対策の強化、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けた体制整備も進めました。

学校運営面では、学校業務（用務等）の委託化について先行実施校で取組を開始するとともに、部活動においては指導員や外部人材の活用を進め、指導体制の充実と教員の負担軽減を図りました。

施設整備では、向原小学校及び鷹番小学校の改築を着実に進めるとともに、目黒南中学校及び目黒西中学校の新校舎の整備を推進しました。また、学習用情報端末の更新や通信環境の高速化等を行い、ICTを活用した学びの充実を図りました。

加えて、子どもや教職員、学識経験者等の意見を広く取り入れながら、「子ども読書活動推進計画」の策定を行い、子どもの読書活動の一層の推進に取り組んでいくこととしました。

令和8年度は、「めぐろ学校教育プラン」、「MEGURO スマートスクール・アクションプラン」、「目黒区生涯学習実施推進計画」の改定年度に当たり、今後の教育施策の方向性を定める重要な一年となります。引き続き、目黒区の教育の充実に向けて取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年8月

目黒区教育委員会

教育長 高 橋 和 人